

2023年広島県母親大会

『生命を生みだす母親は 生命を育て 生命を守る』ことをのぞみます

先週の記事もご覧下さい



活動報告や次回・東広島からの呼びかけなど



める状況になります。大量の本の重さに耐えられるのか？ 全国的に老朽化が進んでいる図書館は沢山あります。その多くは子供や市民が利用しやすいように建替えが進められています。広島市はなぜそれができないのか？

今も市民の反対の声を傾ける事なく、100億円を超える予算で押し進められています。

次に、二葉山トンネル問題について二葉山トンネルを考える市民の会代表の越智秀二さんからお話がありました。

当初の完成予定は2020年7月でしたが2年以上過ぎててもなお完成のメドが立たないまま、新たに「異常隆起問題」を引き起こしています。工事が1日遅れると1億円掛かるそうです。この膨大な工事費は市民・県民の税金と通行料金でまかなわれる予定で、結局は私たちに負担を負わせるものです。県民・市民にこれ以上の負担をかけさせないようにしなければなりません。大型開発には湯水の如く金をつぎ込む一方で、県民・市民向けの予算

はほとんど削り、大企業の失敗のツケさえ私たちに支払わせるような市政・県政は変えていかないといけないと話されました。

記念講演では「共に生きるとは何か」、難民の声や家族の歴史から考えた多様性をテーマに、フォトジャーナリストの安田菜津紀さんの講演がありました。（記念公演の内容は、先週の伊勢さんの記事をご覧ください）

シリアの人々の話で「日本は平和だから日本に行きたい」と話された家族に、安田さんは日本で難民認定を取る事の難しさを知っているから、何も応えてあげることができなかったという話が印象的でした。

戦後の日本で「子どもたちを核戦争から守ろう」と始まった母親



参加された婦人部員の皆さん

運動はさまざまな困難をのりこえ、今まで続いてきました。日本は戦争こそ無く、一見平和な国なのかもしれませんが、今の政府の考えや行動は安心して暮らせる国では無くなってきたと思います。

【牛田記】

参加者の方々からの感想をご紹介します。

・戦争とは良いことが何もない。

・二葉山トンネルは、どれだけお金が掛かるのか？ 今からでも止める事はできないのか？

・人種差別など、自分の心を照らし合わせたら差別がやはりあると思います。政府は海外にお金を送るのではなく米など物資を送れば良いのと思いましたが、日本は島国だから他の国から来る人に対しての抵抗がある。難民というと船で来るという印象を持っている人

もいる。難民の人がスマホを使っていると、難民なのにと人があるけど、実は普段スマホを使っている人がある日、突然に難民になってしまったんだ。自分達もいつ何があるか分からない。

今週の商工新聞

今週の商工新聞4面に、婦人部の平和学習の様子が紹介されています。一緒にご覧ください。

入会時の5,000円が、無料に！
入会金無料キャンペーン中
 この機会に、お知り合いをぜひ民商へご紹介ください！

- いっていい**
- ◎26日（月）
無料法律相談
2時 要予約
 - ◎27日（火）
法人学習会

- ◎29日（木）
インボイス学習会
- ◎陽気な道場
- ◎30日（金）
法人集団申告
10時30分 北税前

融資、多重債務・サラ金、滞納のご相談は
『陽気な道場』へ
 毎週木曜日 夜7時から

法人の会員さんも一緒に税金学習を
『法人学習会』
 毎月第4火曜日 昼1時30分と夜7時
『税務調査の対策会議』は随時開催します!!

インボイス登録申請・学習会

- ・6月27日（火）10時30分、13時30分、19時
- ・7月4日（火）10時30分、14時

※各回5組程度。要予約です